

(熊谷市) 記者クラブ情報

事業の名称等 上之土地区画整理事業地内遺跡発掘調査事業

弥生時代後期～古墳時代前期の方形周溝墓より人骨歯・副葬品が出土

- 実施日時等 平成 24 年 1 月 10 日(火) 午前 時 分から
平成 24 年 2 月 29 日(水) 午後 時 分まで
- 会場・主催地 上之土地区画整理事業地内 (熊谷市中西四丁目 2401 番地 1 他)
- 主催者・関係者
(1) 団体名等 熊谷市教育委員会
(2) 代表者名 教育長 野原晃 TEL 048-524-1111
- 事業内容
上之土地区画整理事業地内における埋蔵文化財発掘調査を実施しているが、今回の調査で弥生時代後期～古墳時代前期の方形周溝墓を 1 基検出。その溝からヒトの歯 3 点・管玉 3 点・ガラス小玉 1 点の副葬品を含む埋葬施設を確認。また、その付近より木製品が出土した。これは、県内初の事例となる。
- 目的・理由 開発行為によって破壊される恐れがある遺跡の発掘調査を行い、記録保存を実施している。今回の調査で県内初の事例が確認されたため、成果を広く周知することにより、文化財保護の精神を啓発するとともに、市民へ公表し成果を還元する。
- 経緯・経過 平成 24 年 1 月より、道路工事計画に伴い、遺跡名：箱田氏館跡の上記地点を発掘調査している。縄文時代後期(約 3200 年前)と弥生時代後期～古墳時代前期(約 1700 年前)の遺構・遺物を検出している。その中で県内初の重要な成果が確認された。
- 影響・効果 県内初の事例が確認され、熊谷市の文化財の注目度が上がる。市民へ公表することにより、当該事業への理解が深まり、生涯学習の啓発にもつながる。
- この事業の実施による特記事項
弥生時代後期～古墳時代前期の方形周溝墓を 1 基検出。その溝からヒトの歯 3 点・管玉 3 点・ガラス小玉 1 点の副葬品を含む埋葬施設を確認。また、その付近より木製品が出土。通常、方形周溝墓は後世の開発行為により、埋葬施設を喪失している例が多く、骨も土壌に融解し遺存しない。また、埋葬施設が溝の中に配置されるケースは稀で、豪華な副葬品を伴うケースとして県内で初めての例となった。また、人骨歯の鑑定を行うことにより、被葬者像に迫ることができ、葬送儀礼に使用されたと考えられる木製品が伴出するなど、地域研究に初見となる重要な成果であるといえる。
平成 24 年 2 月 26 日(日)に午前 11 時～午後 3 時まで現地説明会を実施する。昨年度の成果も重要であったため、あわせて遺物・パネルの展示も現地で行う。
(1) 県内の状況
ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目 実施市別紙のとおり
(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色
・他市と同じ

※資料の有無 (有)

担当課 熊谷市 教育委員会 社会教育課 担当者 蔵持 俊輔
連絡先 TEL 048-536-5062

記者クラブ取材情報資料（別紙）

教育委員会社会教育課

「上之土地区画整理事業地内における遺跡発掘調査に伴い、 弥生時代～古墳時代前期の方形周溝墓からヒトの歯・副葬品が出土」

遺跡発掘調査に伴い、弥生時代～古墳時代前期の方形周溝墓からヒトの歯 3点、管玉 3点、ガラス小玉 1点、木製品 4点が出土しました。これは、県内初の極めて稀なケースです。

1 上之土地区画整理事業地内における発掘調査について

- ・ 平成8年度より実施しています。該当する遺跡は計5遺跡です。
（箱田氏館跡・前中西遺跡・諏訪木遺跡・藤之宮遺跡・上之古墳群）
- ・ 現在、縄文時代後期（約 3,200 年前）から江戸時代までの遺跡が確認されています。
- ・ 発掘調査後は整理調査を行い、発掘調査報告書を作成し、現在、7冊を刊行しています。
（前中西遺跡Ⅱ～Ⅵ、諏訪木遺跡Ⅱ上之古墳群第2号墳、藤之宮遺跡）
- ・ 発掘調査は土地区画整理中央事務所の工事計画にあわせて、毎年2～3地点を実施しています。整理調査は通年実施し、数地点をまとめて報告書を刊行しています。

2 箱田氏館跡について

- ・ 平成22・23年度の計2次の発掘調査を実施しています。
（熊谷総合病院北側隣接 旧・東京電力電柱置場）
- ・ 縄文時代後期の集落・遺物包含層と弥生時代後期～古墳時代前期の墓域が確認されました。
- ・ 縄文時代後期の遺物はコンテナ90箱におよぶ量が出土し、土偶（6体以上）や石剣などの希少な遺物も含まれ、質・量ともに該期の遺跡として県内有数といえる状況です。
- ・ 弥生時代後期～古墳時代前期は市内初めてとなる前方後方形周溝墓を検出しました。県内でも数例しかなく、古墳の発生を考察するうえで重要な発見となりました。

3 今回の発掘調査における成果

- ・ 昨年の隣接地の調査となり、同様に縄文時代後期の集落・遺物包含層と弥生時代後期～古墳時代前期の墓域が確認されました。
- ・ 縄文時代後期は遺構として住居跡を1軒と遺物包含層を検出しました。

遺物は縄文時代後期後半（約 3,200 年前）の土器を主体として、打製石斧・砥石などの石器類が出土しました。また、耳飾りや土偶なども昨年度に続き確認されています。

○ 特記事項

弥生時代後期～古墳時代前期の方形周溝墓を 1 基検出しました。その溝からヒトの歯 3 点・管玉 3 点・ガラス小玉 1 点の副葬品を含む埋葬施設を確認しました。また、その付近より木製品が出土しています。通常、方形周溝墓は後世の開発行為により、埋葬施設を喪失している例が多く、骨も土壌に融解し遺存していません。また、埋葬施設が溝の中に配置されるケースは稀で、豪華な副葬品を伴うケースとして県内で初めての例となりました。また、ヒトの歯の鑑定を行うことにより、被葬者像に迫ることができ、葬送儀礼に使用されたと考えられる木製品が伴出するなど、資料的に重要な成果であるといえます。

4 遺跡見学会の実施

- ・ 平成 24 年 2 月 26 日（日）午前 11 時から午後 3 時まで（予定）
- ・ 現地の説明と遺物の展示を実施する。
- ・ 現地の説明は見学者の状況を見て 10 名程度ずつ行う。（現場が狭小なため）
- ・ 遺物展示は事務所用プレハブ内で、平成 22・23 年度の出土品と写真パネルで構成。
- ・ 土地区画整理中央事務所の協力で、当日までの展示遺物の保管と地元小学校へ児童への開催周知をお願いする。
- ・ 所在は中西四丁目 2401 番付近・熊谷総合病院北側隣接地
- ・ 交通については、駐車場狭小につき徒歩またはバスを利用いただきたい。
 - ※ 熊谷市ゆうゆうバス 「総合病院」下車
 - ※ 国際十王交通バス 「総合病院前」下車